

広報

ひこね

2004

5/1



山崎山（稲里町）から西方の田園を望む



山崎山を背にした西村さん

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、**市情報政策課**広報係で撮影します。☎22-1411（内線431）へ気軽に連絡してください。

荒神山の東側にある山崎山は、水道の配水池工事をきっかけにした発掘で山崎山城跡が発見され、今は史跡公園に整備されています。しばらく前はなかなか山に入れないような状態でしたが、整備された今は眺望を楽しみに訪れる人も増えたのではないのでしょうか。

かつて山崎山は、燃料にする薪などを手に入れるために山に入るなど、生活に密着していました。近くを流れる宇曾川を大掃除した後は、お酒と肴を持ってみんなで山に登り、景色を楽しみながら疲れをいやしたものです。

今は、私たち賀田山町大山の老友会が、毎月清掃をしています。山崎山がより多くの人に親しまれることを願っています。○

表紙のことば

西村辰蔵さん（賀田山町）